

## ◆ 平成28年度 活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 エコ・エコ

19A-11

代表者：代表 加倉井憲一

URL : <http://kaerunomaru.world.coocan.jp/>

### 1. 活動が必要とされた状況

保全による生きものの保護や自然植生の再生、自然を理解し体感する観察会、視野を広げるための環境講演会等は、私たちの活動の柱です。これらの活動を行うために助成を必要としました。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）2016年4月1日～2月19日

**講演会** 環境講演会 **湿地保全** 月2回 第2木曜、第3金曜 他に臨時保全を実施

**観察会** 見沼自然公園にて月1回 **里山体験** 畑、森、湿地での保全体験 **ゴミ拾い**

**支援活動** チャレンジスクール、民家園、地球っ子クラブ2000 **埼玉県モニタリング調査**

**イベント** 桜環境センター・見沼秋フェスなど **森の手入** 34回

ボランティア延べ人数 745人 一般参加者延べ人数 1,727人（内子ども 858）計 2,472人

### 3. 活動の成果

○環境講演会では、ドイツの環境保護をお話しして頂きました。

○自然の仕組み理解のために、観察会を月1回開催しました。四季を通して自然を体感することで、多くの

子どもたちの笑顔と若い保護者の方々の理解を得られました。のぞいて見るのが苦手な子ども達に、スマホで利用出来る望遠鏡や顕微鏡（助成品）は、大変有効でした。

○さぎ山記念館を利用できるようになり、

観察会時は座学も行うことが出来、自然理解がより深まりました。

○里山.comという名前のプロジェクトで、畑、森、湿地の体験をしてもらいました。農薬を使わない野菜作りの副産物で、虫やクモがたくさん観察出来る場所になりました。



○さいたま市の伝統行事の藁を利用したフナノ作りに参加し、1月にはタコ揚げを

○湿地外からの行いました。アシで龍を作り、**環境保全ア**ていただけるようになりました。

○プラザイースト、桜環境センター、さぎ展示しました。



行いました。

景観を意識した手入れを  
**一ト**として多くの方に見

山記念館で見沼の写真を

### 4. 今後に残された課題

①環境教育、自然観察会を今後とも実施し、真の自然保護の理解者を増やす計画です。

②見沼原形保全区間の周辺を手入れし、**生物多様性の保たれる空間**を増やしていき、多くの方の理解を得たいと思います。

③他の施設や団体とコラボして活動の幅と奥行きを出していきたいです。